

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representation of
The original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 4月21日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-126287

出 願 人

Applicant (s):

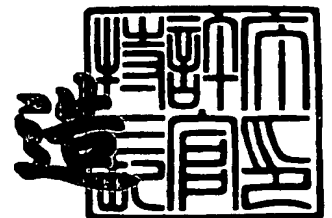
株式会社日立製作所

Y. Yamamoto
filed 4-19-01
103-684-1120
ASA-997

2001年 4月 6日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3025840

【書類名】 特許願

【整理番号】 K00001451

【提出日】 平成12年 4月21日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/60

【請求項の数】 28

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県秦野市堀山下 1 番地 株式会社日立製作所 エ
ンタープライズサーバ事業部内

【氏名】 山本 芳正

【特許出願人】

【識別番号】 000005108

【氏名又は名称】 株式会社日立製作所

【代理人】

【識別番号】 100075096

【弁理士】

【氏名又は名称】 作田 康夫

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 013088

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ネットワーク上のポイントサービスシステム

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ネットワーク上の仮想店舗でサービス（商品を含む。以下同じ）を購入する顧客に対し提供するサービスに対応したポイントを提供しポイント数に応じて顧客に景品を提供するポイントサービスシステムであって、

少なくとも顧客毎の累計ポイント数を記憶する情報記憶手段と、

サービス取り引き発生時にサービスを提供する仮想店舗（以下、ショップ）から顧客を特定する情報と提供ポイント数を含む第一の取り引き情報の連絡を受け、前記連絡を受けた提供ポイント数を前記顧客の累計ポイント数に加算するショップサポート手段と、

景品取り引き発生時に景品を提供する仮想店舗（以下、ベンダー）から顧客を特定する情報と消費ポイント数を含む第二の取り引き情報の連絡を受け、前記連絡を受けた消費ポイント数を前記顧客の累計ポイント数から減算するベンダーサポート手段とを備えるポイントサービスシステム。

【請求項2】

提供するサービスの価格に対応したポイント数の範囲を規定する第一のルールと提供する景品の価格に対応したポイント数の範囲を規定する第二のルールとを前記情報記憶手段に記憶しておき、前記ショップサポート手段が前記ショップから送られてくる前記提供ポイント数の妥当性を前記第一のルールによりチェックし、前記ベンダーサポート手段が前記ベンダーから送られてくる前記消費ポイント数の妥当性を前記第二のルールによりチェックする請求項1記載のポイントサービスシステム。

【請求項3】

前記ショップ及び前記ベンダーから送られてくる前記第一及び第二の取り引き情報にタイムスタンプと通し番号を付加して前記情報記憶手段に記憶しておく請求項1記載のポイントサービスシステム。

【請求項4】

ショップの登録可否を審査するショップ登録手段と、ベンダーの登録可否を審査するベンダー登録手段とを備える請求項1記載のポイントサービスシステム。

【請求項5】

仮想店舗毎の契約期限情報と期限切れ予告を行うためのルールを前記情報記憶手段に記憶しておき、前記ルールにより仮想店舗に対して期限切れ予告を行なう請求項1記載のポイントサービスシステム。

【請求項6】

ネットワーク上の仮想店舗でサービス（商品を含む。以下同じ）を購入する顧客（以下、メンバー）に対し提供するサービスに対応したポイントを提供しポイント数に応じてメンバーに景品を提供するポイントサービスシステムであって、少なくともメンバー毎の累計ポイント数を記憶する情報記憶手段と、

サービス取り引き発生時にサービスを提供する仮想店舗（以下、ショップ）から取り引きメンバーを特定する情報と提供ポイント数を含む第一の取り引き情報の連絡を受け、前記連絡を受けた提供ポイント数を前記メンバーの累計ポイント数に加算するショップサポート手段と、

景品取り引き発生時に景品を提供する仮想店舗（以下、ベンダー）から取り引きメンバーを特定する情報と消費ポイント数を含む第二の取り引き情報の連絡を受け、前記連絡を受けた消費ポイント数を前記メンバーの累計ポイント数から減算するベンダーサポート手段と、

前記ショップサポート手段による累計ポイントの加算結果を含む第一のポイント情報と前記ベンダーサポート手段による累計ポイントの減算結果を含む第二のポイント情報とを前記メンバーに連絡するメンバーサポート手段とを備えるポイントサービスシステム。

【請求項7】

前記ショップ及び前記ベンダーから送られてくる前記第一及び第二の取り引き情報にタイムスタンプと通し番号を付加して前記情報記憶手段に記憶しておく請求項6記載のポイントサービスシステム。

【請求項 8】

ショップの登録可否を審査するショップ登録手段と、ベンダーの登録可否を審査するベンダー登録手段と、メンバーの登録可否を審査するメンバー登録手段とを備える請求項 6 記載のポイントサービスシステム。

【請求項 9】

仮想店舗毎およびメンバー毎の契約期限情報と期限切れ予告を行うためのルールを前記情報記憶手段に記憶しておき、前記ルールにより仮想店舗およびメンバーに対して期限切れ予告を行なう請求項 6 記載のポイントサービスシステム。

【請求項 10】

請求項 1 または請求項 6 記載の情報記憶手段に複数の顧客を一つのファミリーとして定義する情報を記憶しておき、ファミリーの合計ポイントで景品と交換することができる請求項 1 または請求項 6 記載のポイントサービスシステム。

【請求項 11】

請求項 1 または請求項 6 記載の情報記憶手段に複数の顧客を一つのファミリーとして定義する情報とファミリーの中のボスメンバーを特定する情報を記憶しておき、ファミリーの合計ポイントで景品と交換する権利をボスメンバーに与える請求項 1 または請求項 6 記載のポイントサービスシステム。

【請求項 12】

請求項 1 または請求項 6 記載の情報記憶手段に仮想店舗単位、顧客単位、およびファミリー単位のポイントサービスの統計情報を記憶する請求項 1 または請求項 6 記載のポイントサービスシステム。

【請求項 13】

仮想店舗でサービス（商品を含む。以下同じ）を購入する顧客（以下、メンバー）に対し提供するサービスに対応したポイントを提供しポイント数に応じてメンバーに景品を提供するポイントサービスシステムであって、

少なくともメンバー毎の累計ポイント数を記憶する情報記憶手段と、

サービス取り引き発生時にサービスを提供する仮想店舗（以下、第一のショップ）からネットワークを介して取り引きメンバーを特定する情報と提供ポイント数を含む第一の取り引き情報の連絡を受け、前記連絡を受けた提供ポイント数を

前記メンバーの累計ポイント数に加算する第一のショップサポート手段と、

景品取り引き発生時に景品を提供する仮想店舗（以下、第一のベンダー）からネットワークを介して取り引きメンバーを特定する情報と消費ポイント数を含む第二の取り引き情報の連絡を受け、前記連絡を受けた消費ポイント数を前記メンバーの累計ポイント数から減算する第一のベンダーサポート手段と、

サービス取り引き発生時にサービスを提供する仮想店舗（以下、第二のショップ）からプログラム間連絡手段を介して取り引きメンバーを特定する情報と提供ポイント数を含む第三の取り引き情報の連絡を受け、前記連絡を受けた提供ポイント数を前記メンバーの累計ポイント数に加算する第二のショップサポート手段と、

景品取り引き発生時に景品を提供する仮想店舗（以下、第二のベンダー）からプログラム間連絡手段を介して取り引きメンバーを特定する情報と消費ポイント数を含む第四の取り引き情報の連絡を受け、前記連絡を受けた消費ポイント数を前記メンバーの累計ポイント数から減算する第二のベンダーサポート手段とを備えるポイントサービスシステム。

【請求項14】

ネットワーク上の仮想店舗でサービス（商品を含む。以下同じ）を購入する顧客にサービスに対応したポイントを提供しポイント数に応じて顧客に景品を提供するポイントサービスシステムにおけるポイントサービス処理方法であって、サービスを提供する仮想店舗（以下、ショップ）は顧客にサービスを提供する度に顧客を特定する情報と提供ポイント数を含む情報をシステムホストに通知し、該システムホストは通知を受けた提供ポイント数を顧客の獲得ポイント数として顧客毎の累計ポイント数に加算して更新し、更新後の累計ポイントを含む情報を顧客に連絡し、

景品を提供する仮想店舗（以下、ベンダー）は顧客に景品を提供する度に顧客を特定する情報と獲得ポイント数を含む情報を前記システムホストに通知し、該システムホストは通知を受けた獲得ポイント数を顧客の消費ポイント数として顧客毎の累計ポイント数から減算して更新し、更新後の累計ポイントを含む情報を顧客に連絡するポイントサービス処理方法。

【請求項15】

前記システムホストは前記ショップ又は前記ベンダーから通知されたポイント数があらかじめ定められた所定の条件を満たしているか否かをチェックし、該チェック結果の確認情報を前記ショップ又は前記ベンダーに送る請求項14記載のポイントサービス処理方法。

【請求項16】

前記ショップ又は前記ベンダーは前記システムホストから問題ない旨の確認情報を受けた時にサービス取り引きが成立したことを顧客に連絡する請求項15記載のポイントサービス処理方法。

【請求項17】

前記顧客は前記サービス処理に問題があった場合にクレーム情報を前記システムホストに通知する請求項16記載のポイントサービス処理方法。

【請求項18】

前記ショップは顧客がサービス等に対する支払を履行しない場合に前記顧客に対するサービス停止情報を前記システムホストに通知する請求項16記載のポイントサービス処理方法。

【請求項19】

前記システムホストは前記サービス停止情報の通知を受けた時に前記顧客の累計ポイント数の戻し処理を行い、戻し処理後の累計ポイント数を含む情報を前記顧客に連絡する請求項18記載のポイントサービス処理方法。

【請求項20】

前記ショップは、前記システムホストにあらかじめ登録されているサービスの価格に対応するポイント数の範囲内で任意のポイント数を設定設定可能である請求項14記載のポイントサービス処理方法。

【請求項21】

前記ベンダーは、前記システムホストにあらかじめ登録されている景品の価格に対応するポイント数の範囲内で任意のポイント数を設定可能である請求項14記載のポイントサービス処理方法。

【請求項 2 2】

ネットワーク上の仮想店舗でサービス（商品を含む。以下同じ）を購入する顧客に該サービスに対応したポイントを提供しポイント数に応じて顧客に景品を提供するポイントサービスシステムにおいて、該ポイントサービスシステムに仮想店舗として加盟するための登録手続き方法であって、前記仮想店舗は所定の審査情報をシステムホストに送ることにより該システムホストから登録キーを受取り、該登録キーと契約情報を前記システムホストに送ることにより該システムホストから仮想店舗用プログラムをダウンロードする仮想店舗の登録手続き方法。

【請求項 2 3】

ネットワーク上の仮想店舗でサービス（商品を含む。以下同じ）を購入する顧客（以下、メンバー）にサービスに対応したポイント数を提供しポイント数に応じて顧客に景品を提供するポイントサービスシステムにおいて、該ポイントサービスシステムにメンバーとして加入するための登録手続き方法であって、前記メンバーは所定の審査情報をシステムホストに送ることにより該システムホストから登録キーを受取り、該登録キーと契約情報を前記システムホストに送るメンバーの登録手続き方法。

【請求項 2 4】

ネットワーク上の仮想店舗でサービス（商品を含む。以下同じ）を購入する顧客にサービスに対応したポイント数提供しポイント数に応じて顧客に景品を提供するポイントサービスシステムにおける仮想店舗の契約期限管理方法であって、システムホストにあらかじめ登録されている仮想店舗毎の契約期限情報と期限切れ予告ルールを定期的に参照し、契約期限が切れていない場合には前記期限切れ予告ルールに従って仮想店舗に対して期限切れ予告を行う仮想店舗の契約期限管理方法。

【請求項 2 5】

ネットワーク上で顧客へのサービス（商品を含む。以下同じ）の提供に伴って顧客へポイントを提供する仮想店舗を実現する計算機において、顧客が登録されたメンバーであるかを確認する機能と、メンバーであることを確認後にサービスを提供する機能と、サービスを提供後に前記メンバーを特定する情報と前記提供

サービスに対応して提供したポイント数をシステムホストに通知する機能と、該システムホストから取り引きの妥当性を示す確認情報を受け取る機能と、前記システムホストから問題ない旨の確認情報を受けた時にサービス取り引きが成立したことをメンバーに連絡する機能とを実行させるプログラムを格納した記録媒体。

【請求項 2 6】

ネットワーク上で顧客への景品の提供に伴ってポイントを獲得する仮想店舗を実現する計算機において、顧客が登録されたメンバーであるかを確認する機能と、メンバーであることを確認後に景品を提供する機能と、景品を提供後に前記メンバーを特定する情報と前記提供景品に対応して獲得するポイント数をシステムホストに通知する機能と、該システムホストから取り引きの妥当性を示す確認情報を受け取る機能と、前記システムホストから問題ない旨の確認情報を受けた時に景品取り引きが成立したことをメンバーに連絡する機能とを実行させるプログラムを格納した記録媒体。

【請求項 2 7】

ネットワーク上の仮想店舗でサービス（商品を含む。以下同じ）を購入する顧客にサービスに対応したポイントを提供し、ポイント数に応じて顧客に景品を提供するポイントサービスシステムにおける顧客のポイント処理方法であって、

サービスを提供する仮想店舗は顧客にサービスを提供する度に顧客を特定する情報と提供ポイント数をシステムホストに通知し、該システムホストは通知を受けた提供ポイント数を顧客の獲得ポイント数として顧客の累計ポイント数に加算し、景品を提供する仮想店舗は顧客に景品を提供する度に顧客を特定する情報と獲得ポイント数を前記システムホストに通知し、該システムホストは通知を受けた獲得ポイント数を顧客の消費ポイント数として顧客の累計ポイント数から減算する顧客のポイント処理方法。

【請求項 2 8】

ネットワーク上の仮想店舗でサービス（商品を含む。以下同じ）を購入する顧客にサービスに対応したポイントを提供し、ポイント数に応じて顧客に景品を提供するポイントサービスシステムにおける仮想店舗のポイント処理方法であって

サービスを提供する仮想店舗は顧客提供用ポイントをシステムホストからあらかじめ購入することにより獲得し、各顧客にサービスを提供する度に該サービスに対応するポイントを各顧客に提供することにより前記顧客提供用ポイントを消費し、

景品を提供する仮想店舗は各顧客に景品を提供する度に該景品に対応するポイントを獲得し、一定期間内に獲得したポイントを前記システムホストとの間で清算することにより消費する仮想店舗のポイント処理方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、商品購入時など、サービスを利用することによって提供されるポイントシステムに係り、特にネットワーク上の取引引きを対象とするポイントサービスシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】

ネットワーク上の取引を対象とするポイントサービスシステムに関する従来技術としては、特開平9-245256号「通信回線を利用した商品の取引におけるサービス券の発行方法」、特開平10-78989号「仮想商店街におけるポイントサービスシステム」がある。特開平9-245256号では、仮想店舗が顧客との取引に伴って発行するサービス券を顧客単位に管理し、サービス券の枚数によって、次回取引時の代金の減額または景品の提供で還元するための技術が開示されている。また、特開平10-78989号では、仮想商店街が顧客との取引に伴って店舗毎に個別に設定した比率で発行する共通ポイントを顧客単位に管理し、店舗毎に個別に設定した比率で次回取引時に支払代金の減額を行なって還元するための技術が開示されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

特開平9-245256号で開示された技術では、固定的な均一のサービスし

か提供できず、経営主体の異なる多業種の複数店舗への適用には無理があった。
また、特開平 1 0 - 7 8 9 8 9 号で開示された技術には以下のような問題があった。

【0 0 0 4】

(1) 代金の減額という手段での還元を行なっていることから、特定の店舗の不法行為や倒産といった事態が発生した場合の対処（清算処理）が難しい。

【0 0 0 5】

(2) ポイントの発生・消費におけるサービスとポイントの比率をシステム側で管理しているため、店舗側判断での迅速かつ柔軟に比率の変更ができない。

【0 0 0 6】

本発明の目的は、上記の問題を解決し、仮想店舗および顧客が安心して参加できる条件を整えるとともに、仮想店舗側の判断で柔軟かつ迅速に販売促進のためにサービスとポイントの比率の変更を行なえる条件を備えて、経営主体の異なる多業種の複数店舗を対象とし得るポイントサービスシステムを提供することにある。

【0 0 0 7】

【課題を解決するための手段】

本発明では、仮想店舗および顧客が安心して参加できる条件を整えるために、3つの対処手段を用意した。先ず顧客へのポイント還元方法として、新しい取引発生時の支払金額減額という方法ではなく、ポイント数に応じた景品で還元する方法を採用し、この方法を実現するために、サービス（商品を含む。以下同じ）を提供するショップをサポートする機能と、景品を提供するベンダーをサポートする機能を備えるポイントサービスシステムを構成した。次に、システムに加盟を希望する仮想店舗に対して、資格審査を行なった上でキーを配布する手順を採用することで、特定の店舗の不法行為や倒産といった事態が発生した場合の影響を抑制できるようにした。さらに、時間の経過を考慮して、仮想店舗との契約は期間契約とし、取引情報をポイントサービスシステム内部のデータベースにトレース情報として蓄積し、契約の継続の妥当性を判断できるようにした。

【0008】

また、本発明では、システム内部にサービスとポイントの比率の上限・下限を定めたルールを持ち、仮想店舗がサービスや景品の取り引きの都度、ポイント数を設定して、ポイントサービスシステムのホストに連絡する方式を採用することで、サービスとポイントの比率を仮想店舗側の判断で迅速かつ柔軟に変更できるようにした。

【0009】

さらに、本発明では、顧客を家族のような単位で扱うファミリー情報を記憶しておくことで、より利便性の高いポイントサービスシステムを実現できるようにした。また、本発明では、ポイントサービスシステムの中に仮想店舗相当の機能を持たせて、営業手段としての仮想店舗を備えていない企業も加盟できるポイントサービスシステムを実現できるようにした。

【0010】

【発明の実施の形態】

図1に、本発明を適用したポイントサービスシステムの1実施例の全体構成を示す。

【0011】

ポイントサービスシステムは、顧客にサービスを提供してポイントを提供する仮想店舗の存在するコンピュータ3（以下、ショップと略す。）と、顧客がポイントを用いて景品を購入する仮想店舗の存在するコンピュータ5（以下、ベンダーと略す。）と、ショップでサービスを購入してポイントを獲得し、ベンダーで景品を購入してポイントを消費する顧客（以下、メンバーと略す。）の使用するコンピュータ4と、ポイントサービスを提供するポイントサービスシステムのホスト1とインターネットのような必要時に接続して使用するネットワーク2から構成される。

【0012】

次にポイントサービスシステムが動作するコンピュータの構成について説明する。ホスト1のコンピュータは、図12に示すようにポイントサービスに必要な情報を記憶させておくデータベース17（以下、DBと略す。）とDB17を用

いてポイントサービスを行なうポイントサービスホストプログラムを動作させるCPU101と、ネットワークを介して他のコンピュータと接続するためのネットワーク接続機構102を備えている。また、ショップ3のコンピュータは、図13に示すように顧客とのサービス取り引き発生時にポイントサービスシステムのホスト1にサービス取り引き情報を連絡するショップ用クライアントプログラムを動作させるCPU111とネットワークを介して他のコンピュータと接続するためのネットワーク接続機構112を備えている。同様に、ベンダー5のコンピュータは、図15に示すように顧客との景品取り引き発生時にポイントサービスシステムのホスト1に景品取り引き情報を連絡するベンダー用クライアントプログラムを動作させるCPU131とネットワークを介して他のコンピュータと接続するためのネットワーク接続機構132を備えている。また、メンバー4のコンピュータは、図14に示すようにポイントサービスシステムのホスト1にアクセスするためのWebアクセス用プログラムを動作させるCPU121とネットワークを介して他のコンピュータと接続するためのネットワーク接続機構122を備えている。ここで、ポイントサービスシステムを構成するコンピュータのネットワーク接続機構102、112、122、132は、悪意の侵入者を排除するために通信情報を暗号化する手段を備える。

【0013】

次に、図1によって、ポイントサービスシステムのホスト1上で動作するポイントサービスホストプログラムの機能について詳しく説明する。

【0014】

ホスト1には、ホスト内部に蓄積する情報をショップ3に公開するためのショップサポート部11と、ショップおよびショップの扱うサービスの審査・登録を行うショップ登録部12と、ホスト内部に蓄積する情報をメンバー4に公開するためのメンバーサポート部13と、メンバーの審査・登録を行うメンバー登録部14と、ホスト内部に蓄積する情報をベンダー5に公開するためのベンダーサポート部15と、ベンダーおよびベンダーの扱う景品の審査・登録を行うベンダー登録部16と、ポイントサービスのために必要な情報を記憶するデータベース部17と、DBの参照・更新を行なうDB管理部18を備えている。

【 0 0 1 5 】

図 1 6 には、ポイントサービスシステムの内部にショップ 3 に相当するショップ（代理店） 1 9 とベンダー 5 に相当するベンダー（代理店） 2 0 を持って、ネットワーク 2 を経由せず、ホスト 1 内部のプログラム間連絡手段によって、サービス取り引き情報、景品取り引き情報を交換可能な、ポイントサービスシステムの他の実施例の全体構成を示す。

【 0 0 1 6 】

次に、ポイントサービスのために D B に管理する主要な情報を図 2 に示す。

【 0 0 1 7 】

図 2 （ a ） に示すショップのリストには、ホストがショップを識別するための I D、ホストがショップに与えたキー、ショップとの契約期限、ショップが提供する個々のサービスの I D、名称、そのサービス購入時に顧客に提供されるポイント数、そのサービスの提供期限および残り数、そのサービスに対する前記ポイント数の提供を保証するためのポイント有効期限、ショップがメンバーにサービスをアピールするためのメッセージが含まれている。図 2 （ b ） に示すベンダーのリストには、ホストがベンダーを識別するための I D、ホストがベンダーに与えたキー、ベンダーとの契約期限、ベンダーが提供する個々の景品の I D、名称、その景品購入によって顧客が消費するポイント数、その景品の提供期限および残り数、その景品購入に必要な前記ポイント数の提供を保証するためのポイント有効期限、ベンダーがメンバーに景品をアピールするためのメッセージが含まれている。図 2 （ c ） に示すメンバーのリストには、ホストがメンバーを識別するための I D、ホストがメンバーに与えたキー、メンバーとの契約期限、メンバーの累計ポイント数、メンバーが特定のファミリーに所属するか否かを判別するための情報とファミリーを識別するための情報が含まれている。図 2 （ d ） に示すファミリーのリストには、ホストがファミリーを識別するための I D、ファミリーを構成するメンバーの数、ファミリーを構成するメンバーの累計ポイント数を総和した累計ポイント数、ファミリーの中でファミリーのポイントを景品に交換する権限を独占するボスメンバーの有無を判定する情報とボスメンバーの I D を含んでいる。

【0018】

また、DB上に記憶する、システムを運用するための主要な情報を図3に示す。図3(a)に示すショップのためのポイント利用ルールには、サービスの価格帯とそれに対応するポイント数の下限値、上限値、セールのためのある期間に限って前記上限値を超えたポイントでサービスを提供できるボーナスポイントの上限値とボーナスポイントを適用できる期間を含んでいる。図3(b)に示すベンダーのためのポイント利用ルールには、景品の価格帯とそれに対応するポイント数の下限値、上限値、セールのためのある期間に限って前記下限値を超えるポイントで景品を提供できるボーナスポイントの下限値とボーナスポイントを適用できる期間を含んでいる。図3(c)乃至(e)に示すショップ/ベンダー/メンバーのための期限切れ予告ルールには、契約更新時期が近いことを知らせる時期を特定するための一つ以上の期限切れ予告時期と期限切れ予告を抑止するための一つ以上の予告抑止条件を含んでいる。図3(f)に示す取り引きのトレース情報には、システムがショップ/ベンダー/メンバーと行なった取り引きを、発生した日付・時刻、取り引き毎に固有の値を持った取引番号、取り引きの種類、取り引きを行ったメンバーのID、キーを含む情報として記録・蓄積している。また、図3(g)乃至(j)に示すショップ/ベンダー/メンバー/ファミリーのポイントサービス利用情報には、ショップ/ベンダー/メンバー/ファミリーを識別する情報と総取引件数、ポイント取り扱い総数、初回と最終の取引日付を含んでいる。

【0019】

続いて、ショップ、メンバー、ベンダーの登録手続きについて説明する。

【0020】

最初に、図4に示すフローチャートで、ショップ登録部12が行うショップの登録手続きの概要を説明する。ショップ3からアクセスがあると、ショップ3に対して商店・会社の名称を要求し(201)、入力された商店・会社の名称とDB17上のショップのリスト中のショップのIDを比較して登録済みかどうかを判定する(202)。ショップのリストに登録されていない場合はショップ3に登録に必要な審査情報を要求して(203)、これを取り込んで一旦終了し(2

04)、人手による審査を実施して問題がなければ、キーを送る。ショップのリストに登録されている場合は、ショップ3にキーの入力を要求し(205)、入力されたキーとショップのリストに登録済みのキーと照合する(206)。キーが一致しなかった場合は、終了し(207)、ログに記録する。もちろん、キーの照合については何回かリトライしてもよい。キーが一致した場合はショップ3に契約種別の入力を要求して(208)、新規契約かどうかを判定し(209)、新規契約でない場合は契約延長処理およびショップ3の提供するサービス情報の更新処理を行ってDB17上のショップのリストの内容を更新して(210)、終了する(211)。新規契約の場合、ホスト1に販売を委託する代理店契約かどうかを判定し(212)、代理店契約でない場合はポイントサービスの加盟店契約処理を行い、DB17上のショップのリストに必要な情報を受け取って追加して(213)、ショップ用クライアントプログラムをダウンロードできるようにして、終了する(214)。又、ショップ用クライアントプログラムはフロッピーディスクやCD-ROM等の記録媒体によっても提供することができる。代理店契約の場合は、サービスの代理店契約処理を行い、DB17上のショップのリストに必要な情報を受け取って追加して(215)、終了した後、人手でホスト1上にショップ(代理店)に登録する(216)。ショップサポート部11はショップ3がショップ登録処理部12と会話するためのインタフェースを提供するとともに、DB17上にある情報の一部をショップ3から参照するためのインタフェースを提供する。

【0021】

次に、図5に示すフローチャートで、メンバー登録部14が行うメンバーの登録手続きの概要を説明する。メンバー4からアクセスがあると、メンバー4に対して個人・団体の名称を要求し(401)、入力された個人・団体の名称とDB17上のメンバーのリスト中のメンバーのIDを比較して登録済みかどうかを判定する(402)。メンバーのリストに登録されていない場合はメンバー4に登録に必要な審査情報を要求して(403)、これを取り込んで一旦終了し(404)、人手による審査を実施して問題がなければ、キーを送る。メンバーのリストに登録されている場合は、メンバー4にキーの入力を要求し(405)、入力

されたキーとメンバーのリストに登録済みのキーと照合する(406)。キーが一致しなかった場合は、終了し(407)、ログに記録する。もちろん、キーの照合については何回かリトライしてもよい。キーが一致した場合はメンバー4に契約種別の入力を要求して(408)、新規契約かどうかを判定し(409)、新規契約でない場合は契約内容更新処理を行って、DB17上のメンバーのリストの内容を更新して(410)、終了する(411)。新規契約の場合、ファミリー契約かどうかを判定し(412)、ファイリー契約でない場合はポイントサービスの個人利用契約処理を行い、DB17上のメンバーのリストに必要な情報を受け取って追加して(413)、終了する(414)。ファミリー契約の場合は、ポイントサービスのファミリー利用契約処理を行い、DB17上のメンバーのリストおよびファミリーのリストに必要な情報を受け取って追加して(415)、終了する(416)。メンバーサポート部13はメンバー4がメンバー登録処理部14と会話するためのインタフェースを提供するとともに、DB17上にある情報の一部をメンバー4から参照するためのインタフェースを提供する。

【0022】

次に、図6に示すフローチャートで、ベンダー登録部16が行うベンダーの登録手続きの概要を説明する。ベンダー5からアクセスがあると、ベンダー5に対して商店・会社の名称を要求し(601)、入力された商店・会社の名称とDB17上のベンダーのリスト中のベンダーのIDを比較して登録済みかどうかを判定する(602)。ベンダーのリストに登録されていない場合はベンダー5に登録に必要な審査情報を要求して(603)、これを取り込んで一旦終了し(604)、人手による審査を実施して問題がなければ、キーを送る。ベンダーのリストに登録されている場合は、ベンダー5にキーの入力を要求し(605)、入力されたキーとベンダーのリストに登録済みのキーと照合する(606)。キーが一致しなかった場合は、終了し(607)、ログに記録する。もちろん、キーの照合については何回かリトライしてもよい。キーが一致した場合はベンダー5に契約種別の入力を要求して(608)、新規契約かどうかを判定し(609)、新規契約でない場合は契約延長処理およびベンダー5の提供する景品情報の更新

処理を行ってDB17上のベンダー5のリストの内容を更新して(610)、終了する(611)。新規契約の場合、ホスト1に販売を委託する代理店契約かどうかを判定し(612)、代理店契約でない場合は景品の提供契約処理を行い、DB17上のベンダー5のリストに必要な情報を受け取って追加して(613)、ベンダー用クライアントプログラムをダウンロードできるようにして、終了する(614)。又、ベンダー用クライアントプログラムはフロッピーディスクやCD-ROM等の記録媒体によっても提供することができる。代理店契約の場合は、景品提供の代理店契約処理を行い、DB17上のベンダーのリストに必要な情報を受け取って追加して(615)、終了した後、人手でホスト1上にベンダー(代理店)を登録する(616)。ベンダーサポート部15はベンダー5がベンダー登録処理部16と会話するためのインタフェースを提供するとともに、DB17上にある情報の一部をベンダー5から参照するためのインタフェースを提供する。

【0023】

続いて、登録済みショップ／メンバー／ベンダーとポイントサービスシステムのホストとの間で行われる情報交換について説明する。

【0024】

最初に、図7で、サービス取り引きに伴うポイント処理の手順を説明する。尚、以下の文中ではホスト1の愛称をサンライズと名づけ、これに加入するメンバー4をサンライズメンバーと呼ぶ。また、図中に示すショップ3はホストの外にある仮想店舗(加盟店)でもホストの中にある仮想店舗(代理店)のいずれであってもよい。メンバー4がショップ3で特定のサービスを購入する((1))時に、そのサービスがサンライズに登録されたショップ・サービスであれば、ショップ3はメンバー4に対してサンライズから与えられたキーを要求し((2))、メンバー4から受けたキー((3))と購入されたサービスに対して提供するポイント数を含むサービス取り引き情報を作成して、サンライズのホスト1に通知する((4))。サービス取り引き情報に含まれる主な内容を図9(a)に示す。ホスト1のショップサポート部11ではDB17を参照して、メンバーのリスト、ショップのリストを用いて、メンバー／ショップのキー照合、契約状況の確認を行

うとともに、ショップのためのポイント利用ルールを用いてポイント数の妥当性をチェックし((5))、問題がなければDB17中のメンバーのポイント数を今回提供ポイント数で加算・更新し((6))、確認情報をショップ3に送る((7))。ここで、メンバー／ショップのキー照合、契約状況確認、ポイント数の妥当性に問題があれば、その旨の確認情報をショップ3に送る。問題ない旨の確認情報を受けてショップ3は、メンバー4にサービス取り引き成立を知らせる((8))。また、ホスト1のメンバーサポート部13を介して、メンバー4に今回提供ポイント数を含む情報を連絡する((9))。サービス取り引きに伴うポイント連絡に含まれる主な内容を図9(b)に示す。

【0025】

サンライズに加盟しているショップ3から購入したサービスに問題があった場合、メンバー4はホスト1にメンバー／ショップ／サービスについての情報を含むクレーム情報を通知する((10))。クレーム情報に含まれる主な内容を図9(c)に示す。ホスト1のメンバーサポート部13ではDB17を参照して、メンバーとショップの取り引き情報を確認し、確認情報をメンバー4に送る((11))。

【0026】

サンライズに加盟しているメンバー4にポイントを提供するサービスを提供して、メンバー4がそのサービスに対する支払を履行しない等の問題が発生した場合、ショップ3はホスト1にメンバー／ショップ／サービスについての情報を含むサービス停止情報を通知する((12))。サービス停止情報に含まれる主な内容を図9(d)に示す。ホスト1のショップサポート部11ではDB17を参照して、メンバーとショップの取り引き情報を確認し、DB17中のメンバーのポイント数の戻し処理を行い((13))、確認情報をショップ3に送る((14))。また、ホスト1のメンバーサポート部13を介して、メンバー4に今回戻しポイント数を含む情報を連絡する((15))。サービス停止情報に伴うポイント連絡に含まれる主な内容を図9(e)に示す。

【0027】

次に、図8で、景品取り引きに伴うポイント処理の手順を説明する。尚、図中

に示すベンダー5はホストの外にある仮想店舗（加盟店）でもホストの中にある仮想店舗（景品コーナー）のいずれであってもよい。メンバー4がベンダー5で特定の景品を購入する（(1)）時に、その景品がサンライズに登録されたベンダー・景品であれば、ベンダー5はメンバー4に対してサンライズから与えられたキーを要求し（(2)）、メンバー4から受けたキー（(3)）と購入された景品購入によってメンバー4が消費するポイント数を含む景品取り引き情報を作成して、サンライズのホスト1に通知する（(4)）。景品取り引き情報に含まれる主な内容を図9（f）に示す。ホスト1のベンダーサポート部15ではDB17を参照して、メンバーのリスト、ベンダーのリスト、ファミリーのリストを用いて、メンバー／ベンダーのキー照合、契約状況、メンバー／ファミリーのポイント点数の確認を行うとともに、ベンダーのためのポイント利用ルールを用いてポイント数の妥当性をチェックし（(5)）、問題がなければDB17中のメンバーのポイント数を今回消費ポイント数で減算・更新し（(6)）、確認情報をベンダー5に送る（(7)）。ここで、メンバー4のリストにファミリー属性がある場合はファミリーの合計ポイント点数が確認の対象となる。ここで、ボスメンバーの指定があつてボスメンバー以外のメンバーから景品交換要求があつた場合を含めて、メンバー／ベンダーのキー照合、契約状況確認、ポイント数の妥当性等に問題があれば、その旨の確認情報をベンダー5に送る。問題ない旨の確認情報を受けてベンダー5は、メンバー4に景品取り引き成立を知らせる（(8)）。また、ホスト1のメンバーサポート部13を介して、メンバー4に今回消費ポイント数を含む情報を連絡する（(9)）。景品取り引きに伴うポイント連絡に含まれる主な内容を図9（g）に示す。サンライズに加盟しているベンダー5から購入した景品に問題があつた場合、メンバー4はホスト1にメンバー／ベンダー／景品についての情報を含むクレーム情報を通知する（(10)）。ホスト1のメンバーサポート部13ではDB17を参照して、メンバーとベンダーの取り引き情報を確認し、確認情報をメンバー4に送る（(11)）。

【0028】

サービス取り引きおよび景品取り引きに関連して、ショップ／メンバー／ベンダーとポイントサービスシステムのホストとの間で行われた情報交換の記録は、

ショップサポート部11、メンバーサポート部13、ベンダーサポート部15によって情報交換の都度、取引の発生した日付・時間と取り引き毎に付加される通し番号および取り引き種別を付加して、DB17に取り引きのトレース情報として蓄積される。

【0029】

ポイントサービスシステムのホスト1がメンバー4に提供するWeb画面の一例を図17に示す。

【0030】

続いて、DB管理部18の機能の中の契約期限管理の概要について、ショップを例として、その手続きを図10のフローチャートを用いて説明する。尚、DB管理部18では、一日に一回、日替わりを契機として、契約期限管理の手続きをDB17に記憶しているショップ、ベンダー、メンバーのリストを対象として行う。

【0031】

ショップの契約期限管理の手続きでは、DB17に記憶しているショップのリストを順次参照して(701)、手続き実行日に、ショップ3の契約期限を過ぎていれば(702)、そのショップ3の情報をショップのリストから削除し(703)、ログに記録して終了して次のショップの処理に戻る(704)。ショップ3の契約期限に達していない場合はショップのための契約期限切れ予告ルールを参照して(705)、一つ以上設けた予告時期(例えば、契約期限の10日前)に合致していなければ(706)、終了して次のショップの処理に戻る(707)。一つ以上設けた予告時期(例えば、契約期限の10日前)に合致している場合はトレース情報を参照して(708)、ショップのための契約期限切れ予告ルールの一つ以上設けた予告抑止条件(例えば、契約期間内の取り引きが0件、契約期間内のメンバーからのクレームが100件以上)に一致している場合は(709)、ログに記録して終了して次のショップの処理に戻る(710)。一つ以上設けた予告抑止条件に合致していなければ、ショップサポート部11を介して、契約の更新の案内を行って(711)、終了して次のショップの処理に戻る(712)。ここで、全てのメンバーの契約期限管理手続きを終えて、契約期

限切れのメンバーがあった場合で、メンバーがファミリー属性を持っていて、当該ファミリーに属するメンバーが全て期限切れの場合は、ファミリーのリストから当該ファミリーの情報を削除する。

【0032】

続いて、DB管理部18の機能の中の統計情報を作成する手続きの概要について、図11のフローチャートを用いて説明する。ここでは、DB管理部18が、一月に一回、月替わりを契機として、統計情報を作成する手続きについて説明する。

【0033】

統計情報を作成する手続きでは、DB17上の取り引きのトレース情報を参照して(801)、前回統計情報作成時から新規の取り引きが1件もなかった場合は(802)、ログに記録して終了する(803)。1件以上の取り引きがあった場合は、DB17上のメンバーのリストを参照して(804)、メンバー4のサービス取り引きがあれば(805)、当該メンバーの総取引件数、総ポイント獲得数、初回取引日付、最終取引日付を含むメンバーのポイントサービス利用情報を更新する(806)。ここで、メンバー4にファミリー属性がある場合には、当該ファミリーの総取引件数、総ポイント獲得数、初回取引日付、最終取引日付を含むファミリーのポイントサービス利用情報を更新する。また、メンバー4とサービス取り引きのあったショップ3の総取引件数、総ポイント提供数、初回取引日付、最終取引日付を含むショップのポイントサービス利用情報を更新する(807)。次に、メンバー4の景品取り引きがあれば(808)、当該メンバーの総取引件数、総消費件数、初回取引日付、最終取引日付を含むメンバーのポイントサービス利用情報を更新する(809)。ここで、メンバー4にファミリー属性がある場合には、当該ファミリーの総取引件数、総消費件数、初回取引日付、最終取引日付を含むファミリーのポイントサービス利用情報を更新する。また、メンバー4と景品取り引きのあったベンダー5の総取引件数、総ポイント獲得数、初回取引日付、最終取引日付を含むベンダーのポイントサービス利用情報を更新する(810)。以上の処理をメンバーのリスト上にある全てのメンバー4について繰り返すことで手続きは終了する(811)。以上の説明は一例

であり、DB管理部18では、月次・年次・通算等の複数のポイントサービス利用状況が作成される。

【0034】

最後に、図18、図19を用いて、本ポイントサービスシステムのビジネスフローの一例を説明する。

【0035】

図18は本発明のポイントサービスシステム（サンライズ）におけるビジネスの準備段階のビジネスフローを示している。システムホスト1はショップ3、ベンダー5との新規契約時に、クライアント用プログラムを提供し、その対価として登録料を得る。また、ショップ3、メンバー4、ベンダー5から接続サービス料を得る。なお、メンバー4の接続サービス料は無料であってもよい。契約は基本的に1年間契約とするが、接続サービス料は月々の支払いとし、弾力的に運用する。登録料と接続サービス料はシステムホスト1の固定費にあてる。ショップ3はサービスの準備と登録を行うとともに、サンライズのメンバー4が購入するであろうサービスの金額と数量の合計に見合ったポイントをシステムホスト1から購入しておく。ショップ3、ベンダー5にとって、登録料／接続サービス料は広告料に相当する。ショップがポイントを購入する費用はサービスの割引きに相当する。

【0036】

図19は本発明のポイントサービスシステムにおけるビジネスの運用段階のビジネスフローを示している。ショップ3とメンバー4の間のサービス取引が成立すると、ショップ3の持っていたポイントがメンバー4に移動する。また、メンバー4とベンダー5の間で景品取引が成立すると、メンバー4の持っていたポイントがベンダー5に移動する。ベンダー5は月に1回、メンバー4との景品取引で獲得したポイントをシステムホスト1との間で精算し、景品の代金を回収する。

【0037】

ショップ3から得るポイント料の総額とベンダー5に支払うポイント料の差額をシステムホスト1の変動費と営業利益にあてるため、ショップ3とベンダー5

のポイント料に価格差を設ける。

【0038】

以上本発明の実施例を詳細に説明したが、本発明はこれらの実施例に限定されるものではなく、本発明の精神の範囲内で種々の変更及び改良が可能である。

【0039】

【発明の効果】

本発明のポイントサービスシステムでは、加盟する仮想店舗を顧客にサービスを提供するショップと顧客にポイント還元手段としての景品を提供するベンダーの二つに分離する方式を採用したことで、加盟する仮想店舗間での清算が不要となる。また、仮想店舗とメンバーとの取り引きを、仮想店舗から通知されるメンバー単位の提供ポイント数／消費ポイント数を元に積算する方式を採用したことで、仮想店舗とメンバー間に発生する取り引きと、メンバーへのポイントサービスとの独立性を高めることができる。以上の二つの方式を採用することで、特定の仮想店舗の不法行為や倒産が他の仮想店舗やポイントサービスシステムに与える影響を極小化し、経営主体の異なる多業種の複数店舗が安心して加盟できるポイントサービスシステムを実現できる。

【0040】

次に、ポイントサービスシステムへの加盟／加入を希望する仮想店舗／顧客を審査してから登録する手続きと、契約を期間契約とし、かつ仮想店舗／顧客との取り引きのトレース情報を参考にして契約更新案内を抑止することにより、問題のある仮想店舗／顧客をポイントサービスシステムから排除する仕組みを作り、安定して優良仮想店舗に優良顧客を紹介できるポイントサービスシステムを実現できる。

【0041】

さらに、ポイントサービスシステム側にサービス／景品の価格帯に対応するポイント数の上限値・下限値を含むルールを用意して、その範囲内で仮想店舗側で迅速かつ柔軟にポイント数を変更できうる仕組みを提供し、仮想店舗が戦略的・機動的に展開するセールス等に活用して、加盟する仮想店舗間でも競争が可能なポイントサービスシステムを実現できる。

【0042】

加えて、顧客向けには、一つの財布を使用する家族のようなファミリー属性を用意して、ファミリー全体で獲得したポイントを家族の誰でもが活用できる仕組み、ファミリー全体で獲得したポイントを特定のメンバーが活用できる仕組みを提供することで、顧客にとっても利便性の高いポイントサービスシステムを実現できる。

【0043】

また、ポイントサービスシステムの中に仮想店舗相当の機能を持たせて、営業手段としての仮想店舗を備えていない企業も加盟できる仕組みとすることで、経済活動に幅広く貢献できるポイントサービスシステムを実現できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明のポイントサービスシステムの全体構成を示すブロック図である。

【図2】

本発明のポイントサービスシステムのデータベースに管理する主要な情報を示す図である。

【図3】

本発明のポイントサービスシステムを運用するためにデータベースに記憶する主要な情報を示す図である。

【図4】

本発明のポイントサービスシステムにおける仮想店舗の一形態であるショップの登録手続きを示すフローチャートである。

【図5】

本発明のポイントサービスシステムにおける顧客であるメンバーの登録手続きを示すフローチャートである。

【図6】

本発明のポイントサービスシステムにおける仮想店舗の一形態であるベンダーの登録手続きを示すフローチャートである。

【図 7】

本発明のポイントサービスシステムにおけるサービス取り引きに伴うポイント処理の手順を示す図である。

【図 8】

本発明のポイントサービスシステムにおける景品取り引きに伴うポイント処理の手順を示す図である。

【図 9】

本発明のポイントサービスシステムのホストが扱うメッセージの主な内容を示す図である。

【図 1 0】

ショップを例にとって、本発明のポイントサービスシステムにおける契約期限管理の手続きを示すフローチャート

【図 1 1】

本発明のポイントサービスシステムにおける統計情報を作成する手続きを示すフローチャートである。

【図 1 2】

本発明のポイントサービスシステムのホストのコンピュータの構成図である。

【図 1 3】

本発明のポイントサービスシステムのショップのコンピュータの構成図である。

【図 1 4】

本発明のポイントサービスシステムのメンバーのコンピュータの構成図である。

【図 1 5】

本発明のポイントサービスシステムのベンダーのコンピュータの構成図である。

【図 1 6】

本発明のポイントサービスシステム（その 2）の全体構成を示すブロック図である。

【図 17】

本発明のポイントサービスシステムが提供する Web 画面の例を示す図である。

【図 18】

本発明のポイントサービスシステムの準備段階のビジネスフローの一例を示す図である。

【図 19】

本発明のポイントサービスシステムの運用段階のビジネスフローの一例を示す図である。

【符号の説明】

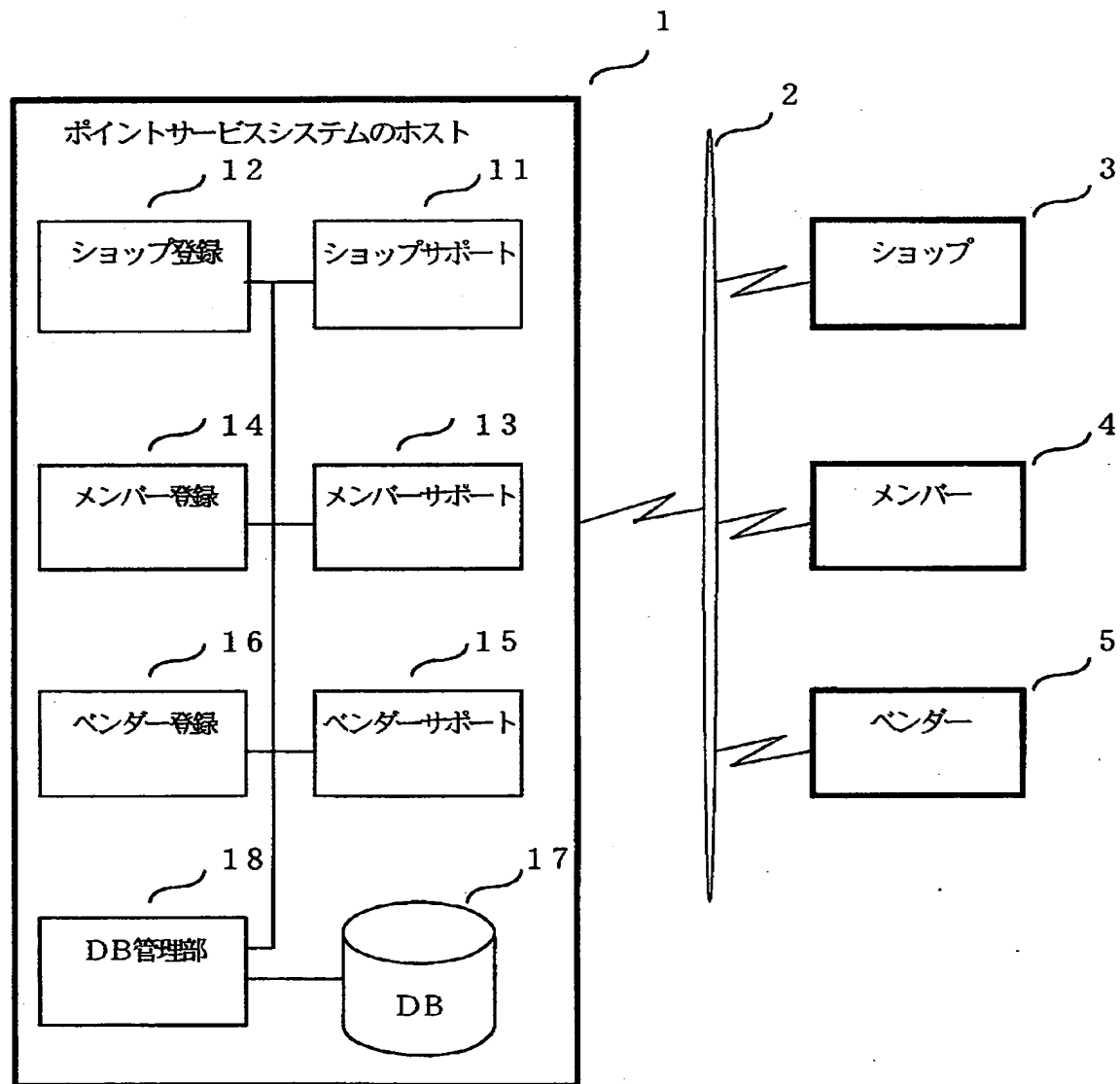
- 1 ポイントサービスシステムのホスト
- 2 ネットワーク
- 3 ショップ
- 4 メンバー
- 5 ベンダー
- 11 ショップサポート部
- 12 ショップ登録部
- 13 メンバーサポート部
- 14 メンバー登録部
- 15 ベンダーサポート部
- 16 ベンダー登録部
- 17 ポイントサービスシステムのデータベース
- 18 データベース管理部
- 19 ホスト上のショップ（代理店）
- 20 ホスト上のベンダー（代理店）

【書類名】 図面

【図1】

図1

ポイントサービスシステムのブロック図



【図2】

図2

DBに管理する主要な情報

(a) ショップのリスト

ショップのID	ショップのキー	契約期限				
サービスのID	サービスの名称	ポイント数	提供期限	残り数	ポイント有効期限	メッセージ

(b) ベンダーのリスト

ベンダーのID	ベンダーのキー	契約期限				
景品のID	景品の名称	ポイント数	提供期限	残り数	ポイント有効期限	メッセージ

(c) メンバーのリスト

メンバーのID	メンバーのキー	契約期限	累計ポイント数	ファミリーの有無	ファミリーのID
---------	---------	------	---------	----------	----------

(d) ファミリーのリスト

ファミリーのID	メンバーの数	累計ポイント数	ボスメンバーの有無	ボスメンバーのID
----------	--------	---------	-----------	-----------

【図3】

図3

システムを運用するための主要な情報

(a) ショップのためのポイント利用ルール

サービスの価格帯	最小ポイント	最大ポイント	ボーナスポイント	ボーナス最長期間
----------	--------	--------	----------	----------

(b) ベンダーのためのポイント利用ルール

景品の価格帯	最小ポイント	最大ポイント	ボーナスポイント	ボーナス最長期間
--------	--------	--------	----------	----------

(c) ショップのための契約期限切れ予告ルール

期限切れ予告時期1	期限切れ予告時期2	予告抑止条件1	予告抑止条件2
-----------	-----------	---------	---------

(d) ベンダーのための契約期限切れ予告ルール

期限切れ予告時期1	期限切れ予告時期2	予告抑止条件1	予告抑止条件2
-----------	-----------	---------	---------

(e) メンバーのための契約期限切れ予告ルール

期限切れ予告時期1	期限切れ予告時期2	予告抑止条件1	予告抑止条件2
-----------	-----------	---------	---------

(f) 取り引きのトレース情報

発生日付	発生時間	取引番号	取引種別	メンバーのID	メンバーのキー	コメント
------	------	------	------	---------	---------	------

(g) ショップのポイントサービス利用情報

ショップのID	総取引件数	総ポイント提供数	初回取引日付	最終取引日付
---------	-------	----------	--------	--------

(h) ベンダーのポイントサービス利用情報

ベンダーのID	総取引件数	総ポイント獲得数	初回取引日付	最終取引日付
---------	-------	----------	--------	--------

(i) メンバーのポイントサービス利用情報

メンバーのID	総取引件数	総ポイント獲得数	総消費数	初回取引日付	最終取引日付
---------	-------	----------	------	--------	--------

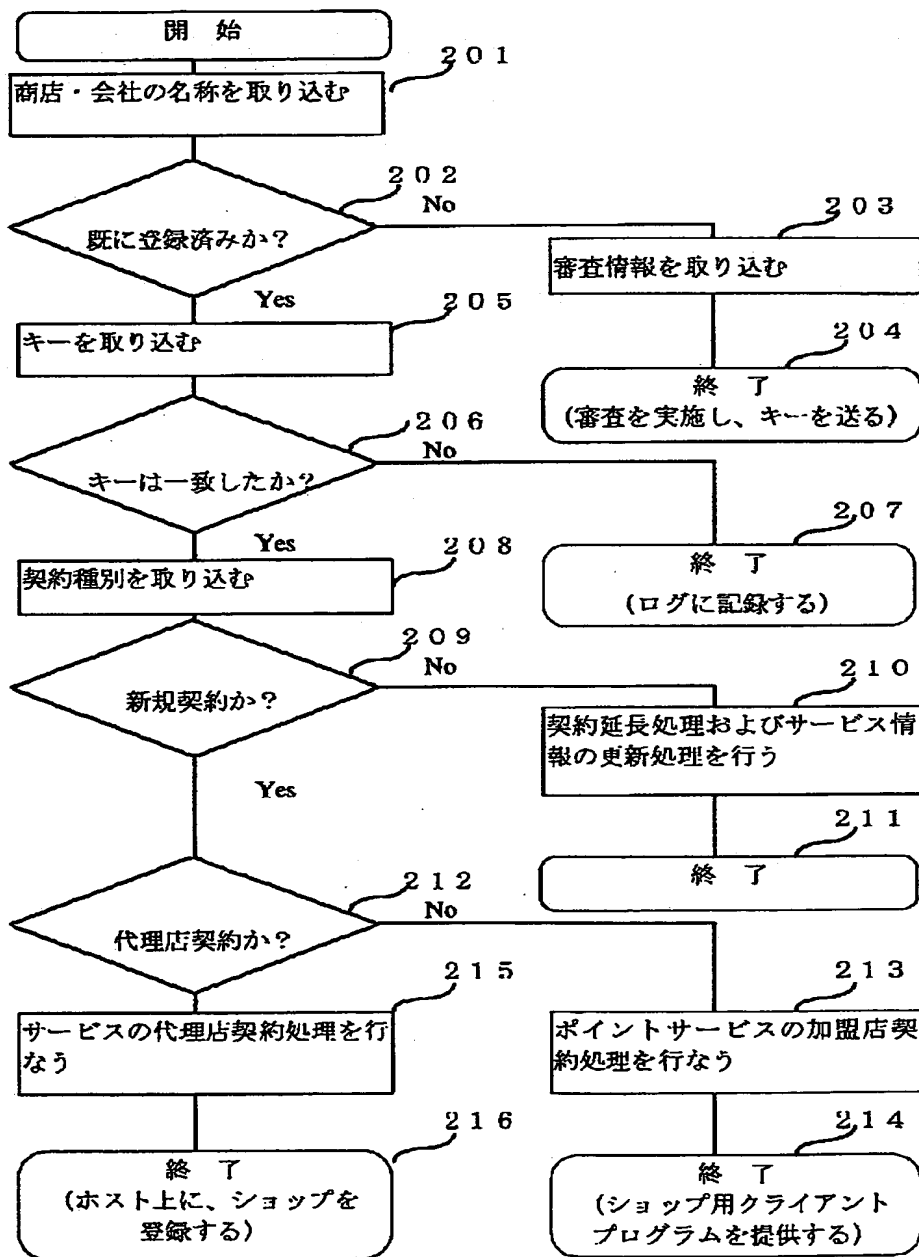
(j) ファミリーのポイントサービス利用情報

ファミリーのID	総取引件数	総ポイント獲得数	総消費数	初回取引日付	最終取引日付
----------	-------	----------	------	--------	--------

【図 4】

図 4

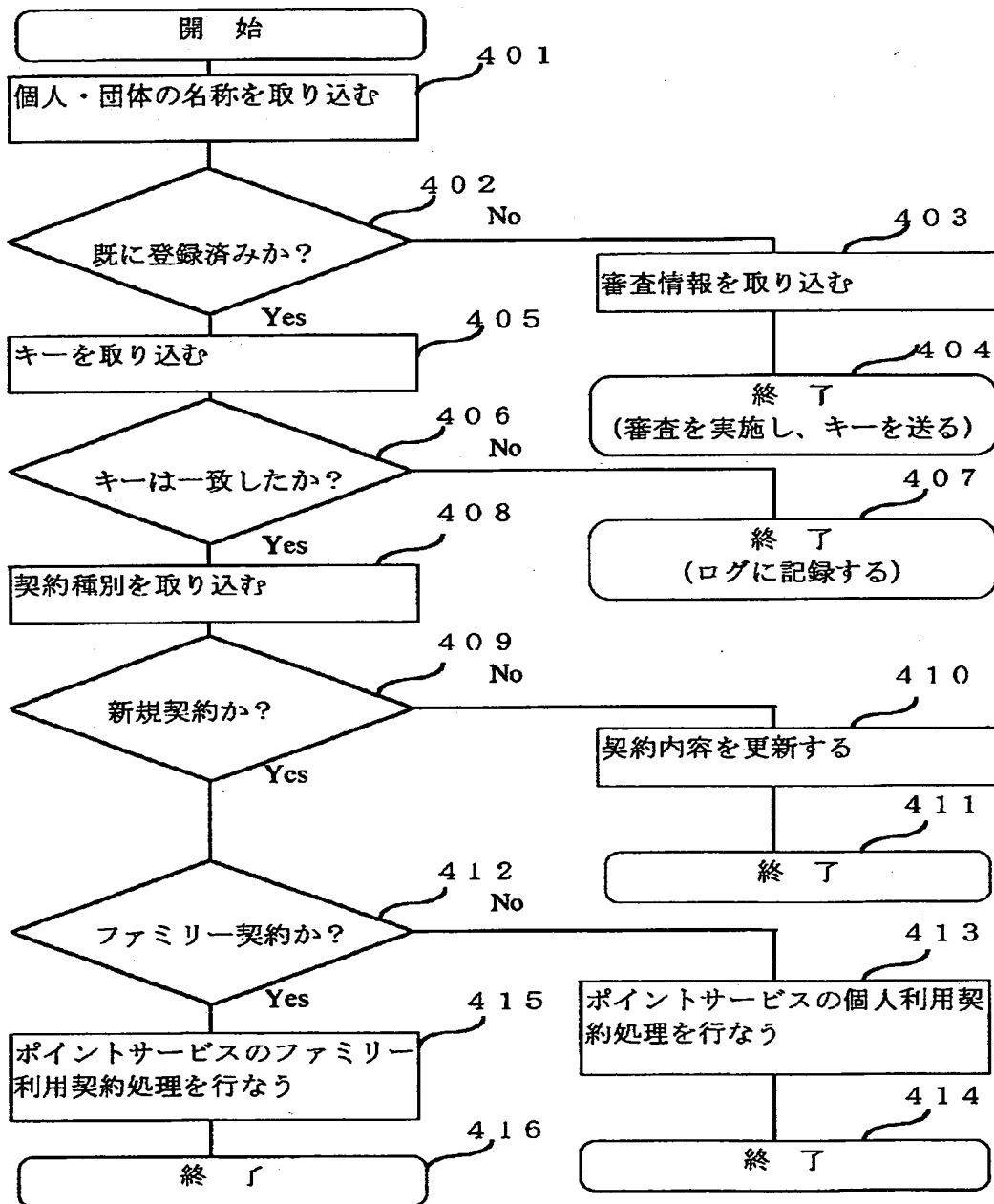
ショップの登録手続き



【図 5】

図 5

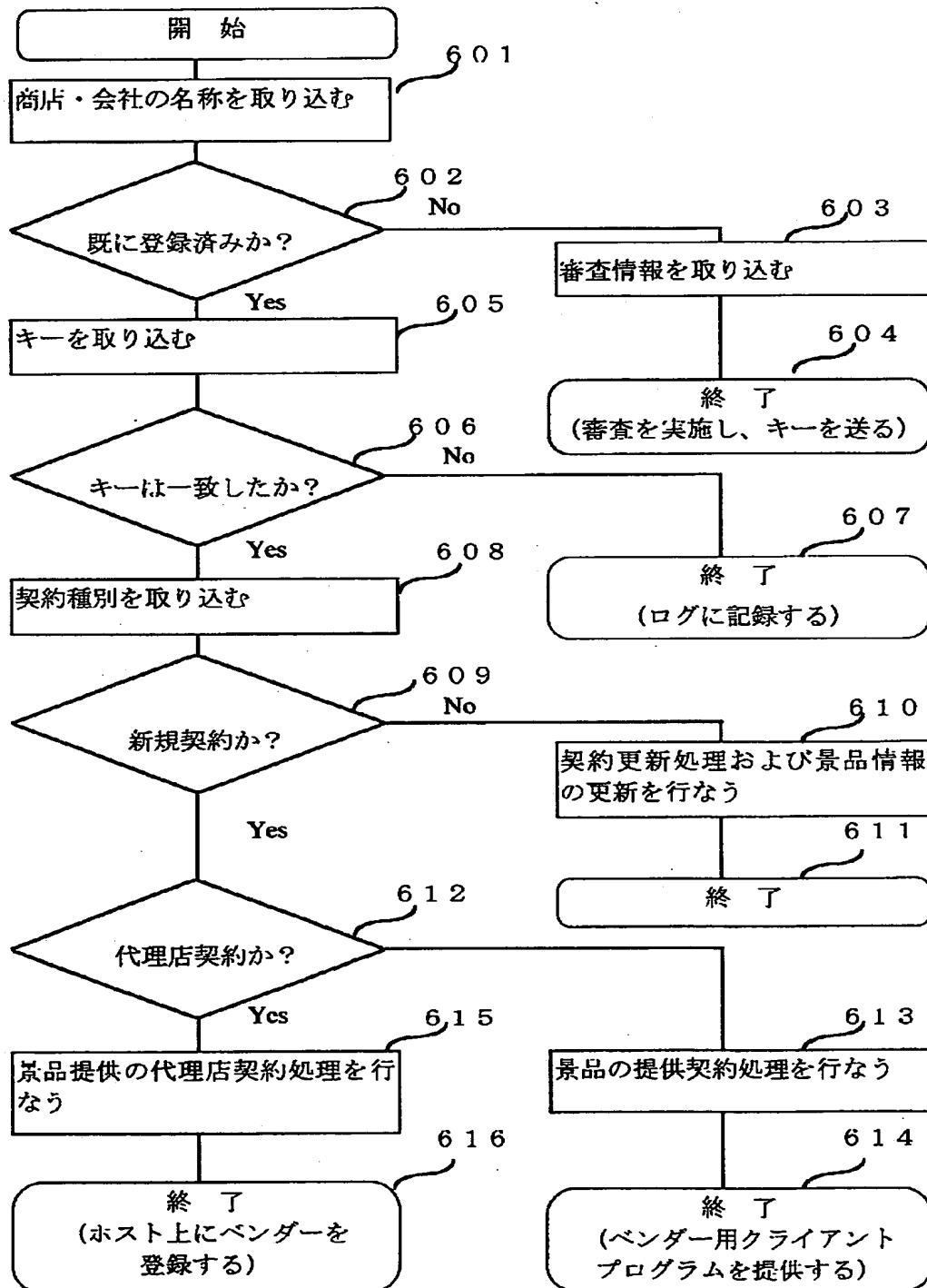
メンバーの登録手続き



【図6】

図6

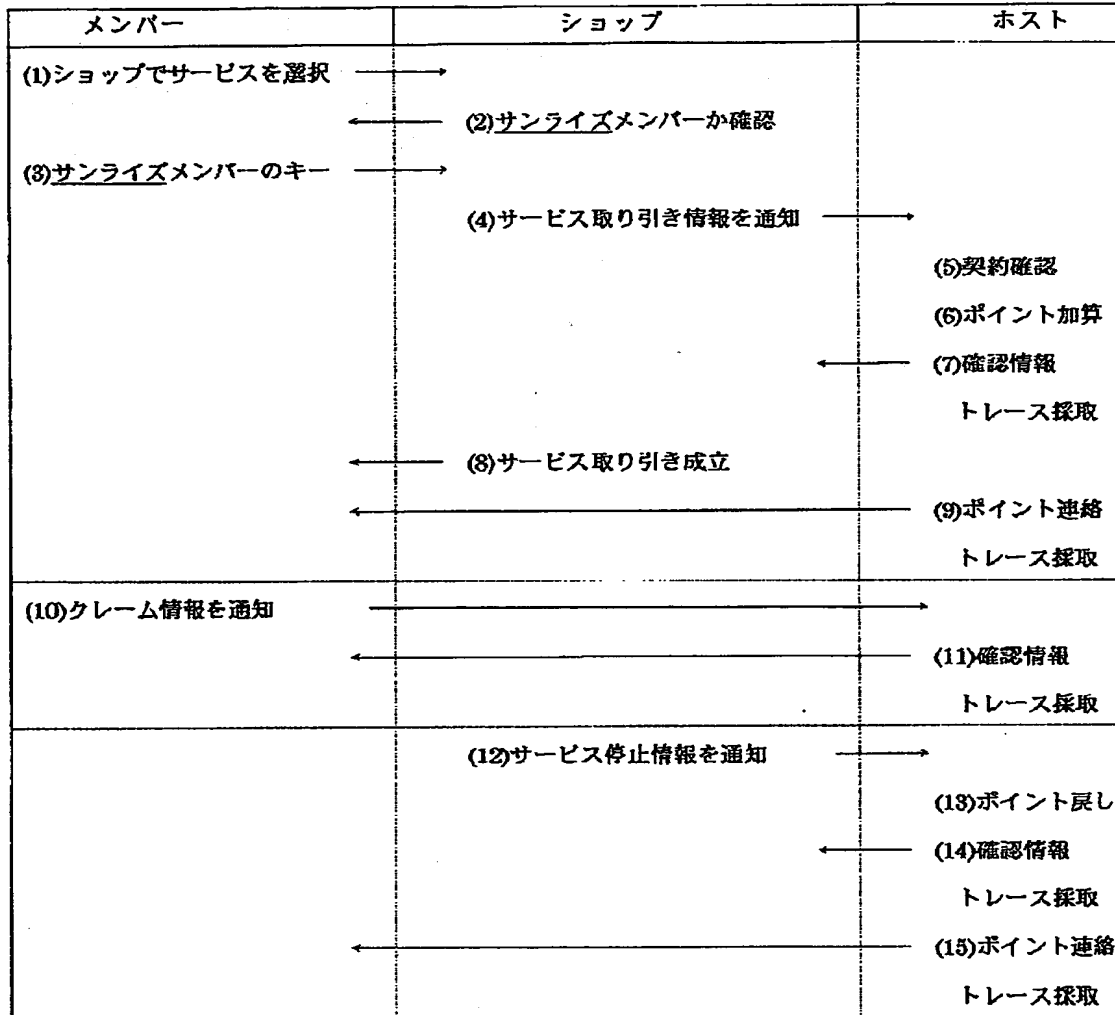
ベンダーの登録手続き



【図 7】

図 7

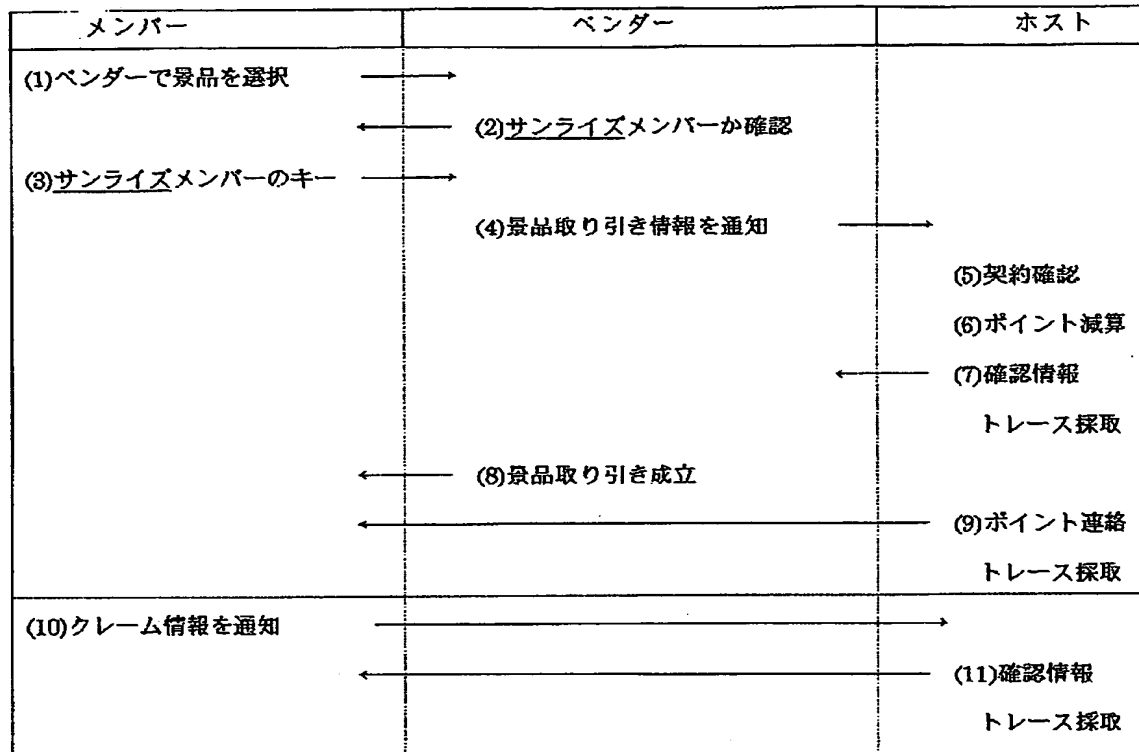
サービス取り引きに伴うポイント処理の手順



【図 8】

図 8

景品取り引きに伴うポイント処理の手順



【図 9】

図 9

ポイントサービスシステムのホストが扱うメッセージの主な内容

(a) サービス取り引き情報 (ショップ→ホスト)

メンバーのID	メンバーのキー	ショップのID	ショップのキー
サービスのID	提供ポイント数	サービス提供期限	サービス残り数
ボーナスポイント採用	現在ポイント有効期限	コメント	

(b) サービス取り引きに伴うポイント連絡 (ホスト→メンバー)

メンバーのID	取り引き日付	ショップのID	サービスのID
獲得ポイント数	ファミリー利用	累計ポイント数	

(c) クレーム情報 (メンバー→ホスト)

メンバーのID	メンバーのキー	ショップのID	サービスのID
取り引き日付	重要度	コメント	

(d) サービス停止情報 (ショップ→ホスト)

メンバーのID	メンバーのキー	ショップのID	サービスのID
取り引き日付	重要度	コメント	

(e) サービス停止情報に伴うポイント連絡 (ホスト→メンバー)

メンバーのID	取り引き日付	ショップのID	サービスのID
戻しポイント数	ファミリー利用	累計ポイント数	

(f) 景品取り引き情報 (ベンダー→ホスト)

メンバーのID	メンバーのキー	ベンダーのID	ベンダーのキー
景品のID	消費ポイント数	景品提供期限	景品残り数
ボーナスポイント採用	現在ポイント有効期限	コメント	

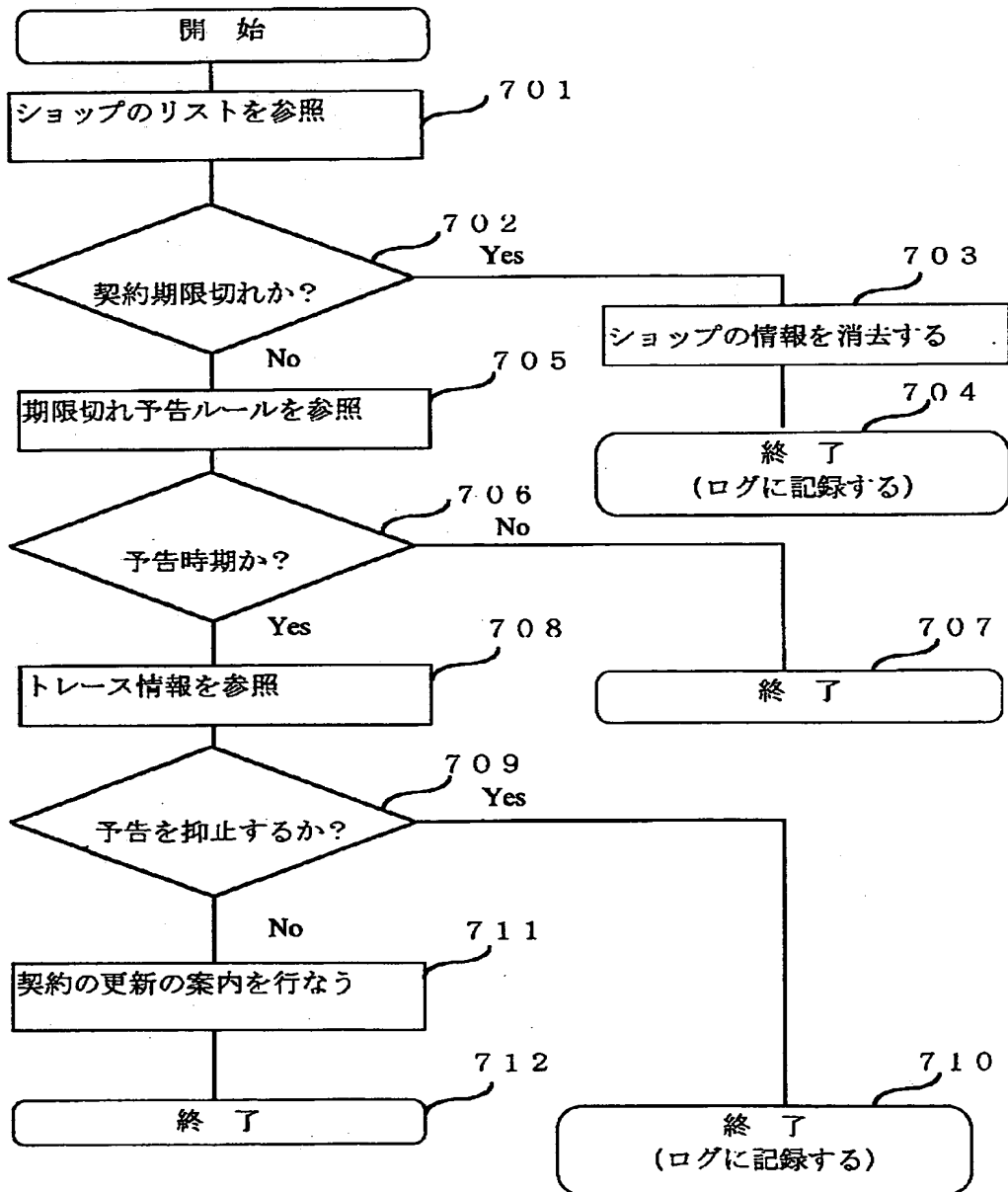
(g) 景品取り引きに伴うポイント連絡 (ホスト→メンバー)

メンバーのID	取り引き日付	ベンダーのID	景品のID
消費ポイント数	ファミリー利用	累計ポイント数	

【図10】

図 10

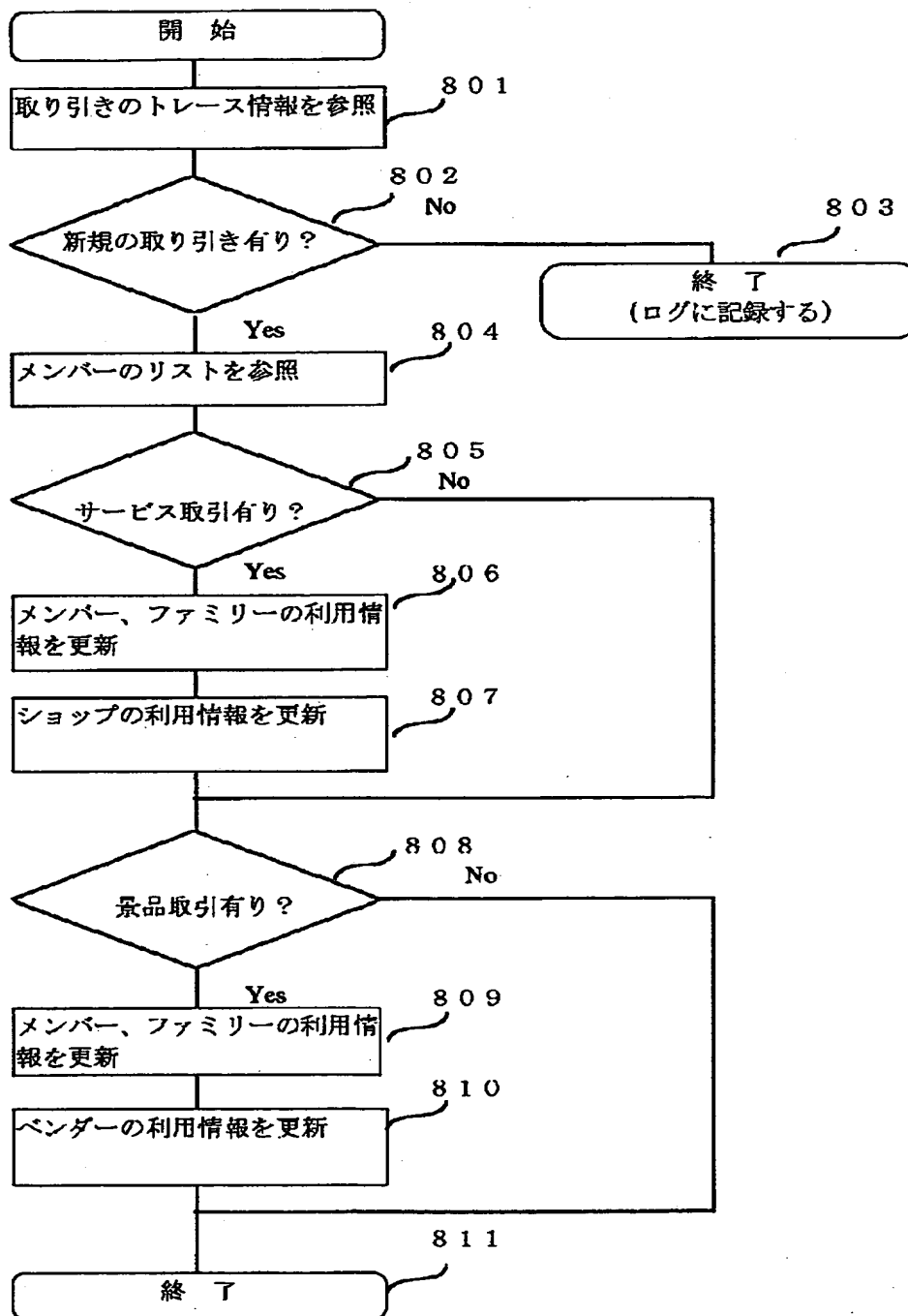
契約期限管理の手続き (ショップの例)



【図 11】

図 11

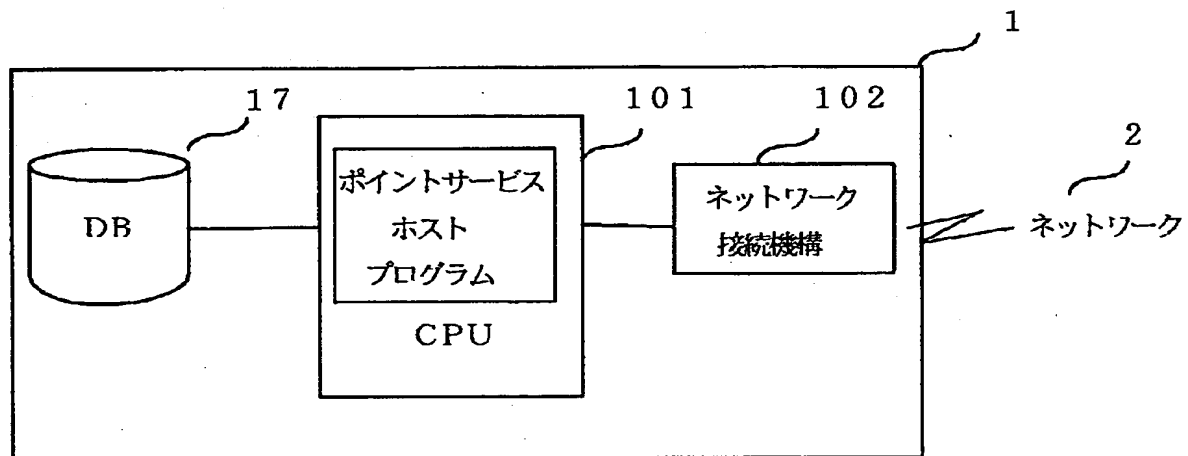
統計情報を作成する手続き



【図12】

図 1 2

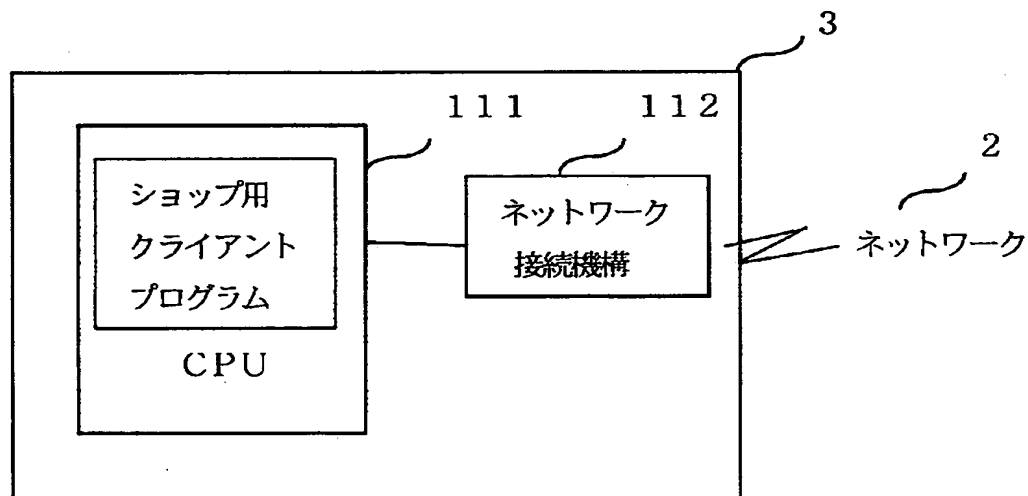
ホストのコンピュータの構成



【図13】

図 1 3

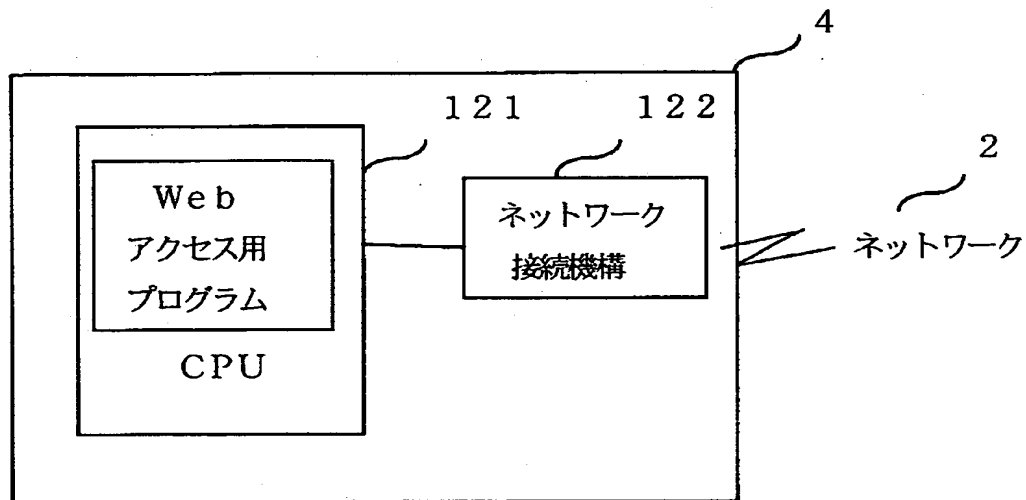
ショップのコンピュータの構成



【図14】

図14

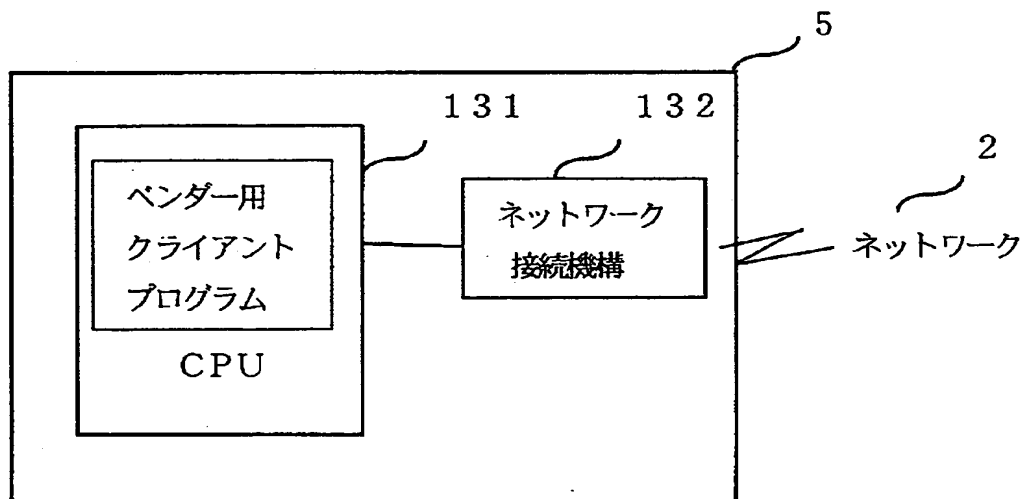
メンバーのコンピュータの構成



【図15】

図15

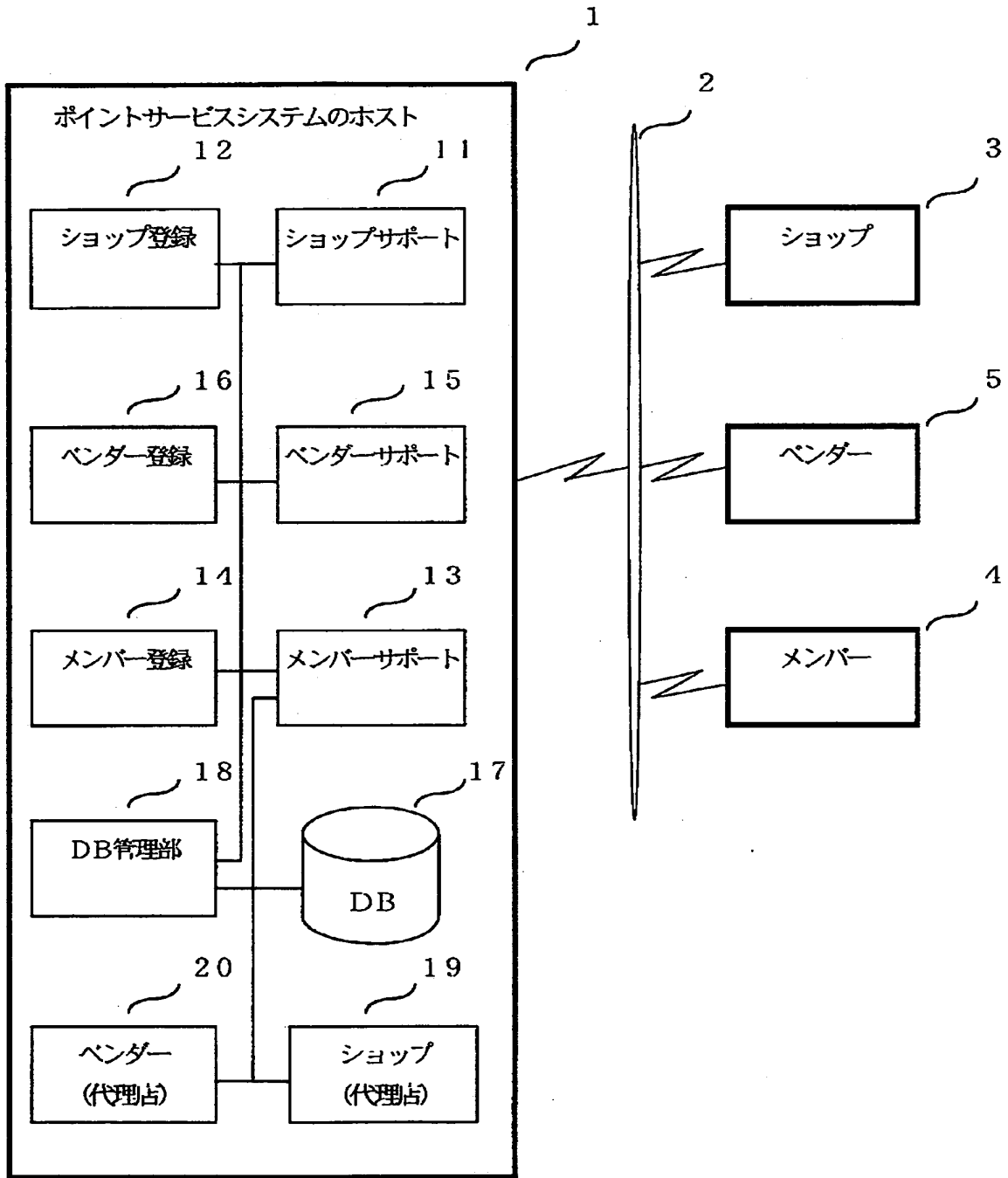
ベンダーのコンピュータの構成



【図16】

図16

ポイントサービスシステムのブロック図（その2）



【図 17】

図 17

ポイントサービスシステムが提供する画面

キーを入力して下さい。

○ キーを記憶させる。

サンライズポイントサービスシステムによろこそ!!

お名前	山本 芳正	現在持ちポイント	2000点		
-----	-------	----------	-------	--	--

貴方様の最新の ポイント獲得情報	取引引き日付	ショップ名称	サービス名称	獲得ポイント
	2000. 11. 18	牧口商会	写真集#18	200点

貴方様の最新の ポイント消費情報	取引引き日付	ベンダー名称	景品名称	消費ポイント
	2001. 05. 03	戸田商店	勝利印杯#5	20点

貴方様のファミリーの現在持ちポイント	2800点
--------------------	-------

ショップ
紹介

ショップ
新規登録

ショップ
更新サービス

ショップへの
クレーム

メンバー
取引引き履歴

メンバー
新規登録

メンバー
更新サービス

サンライズ
脱退

ベンダー
紹介

ベンダー
新規登録

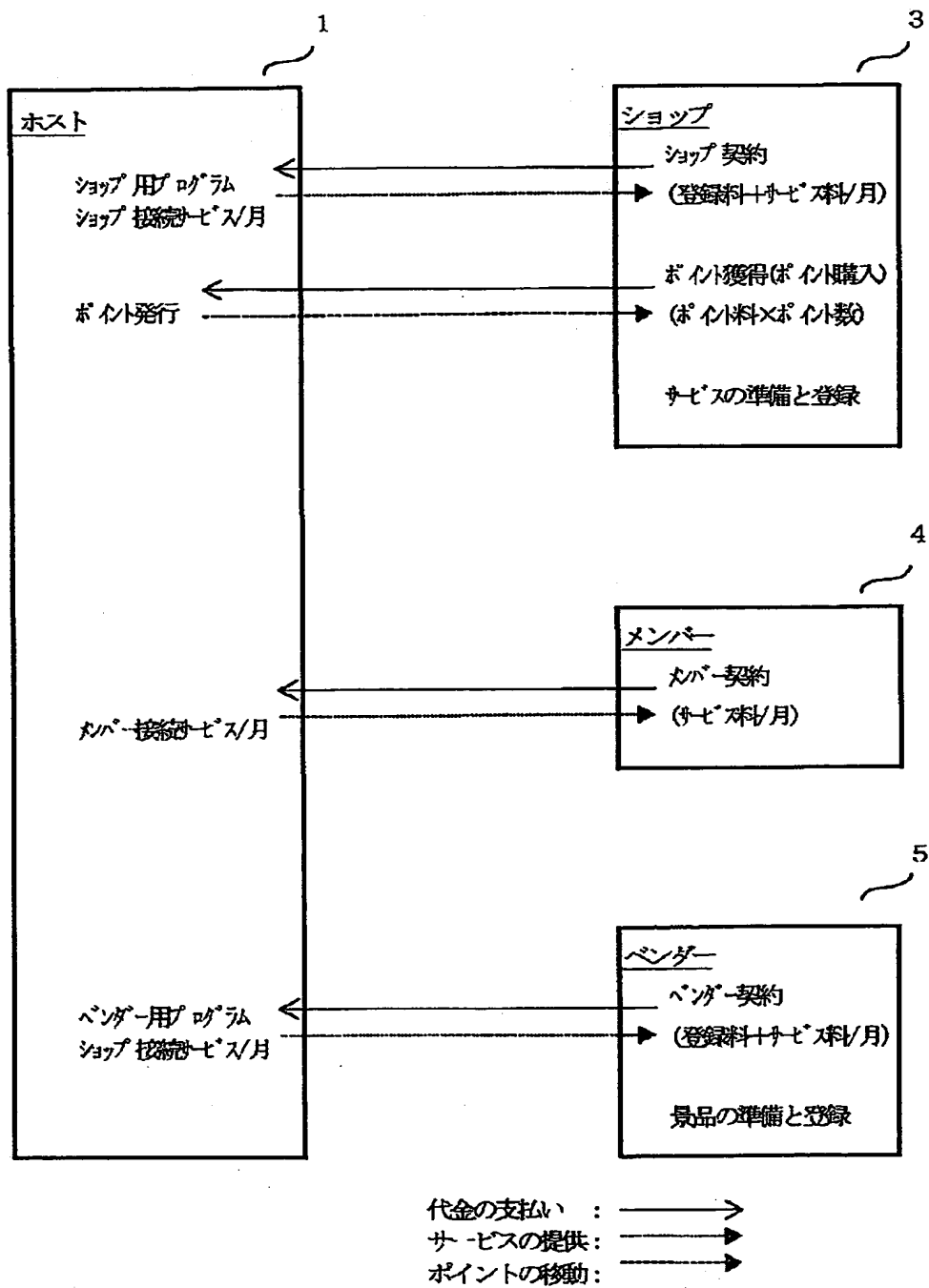
ベンダー
更新サービス

ベンダーへの
クレーム

【図 1 8】

図 1 8

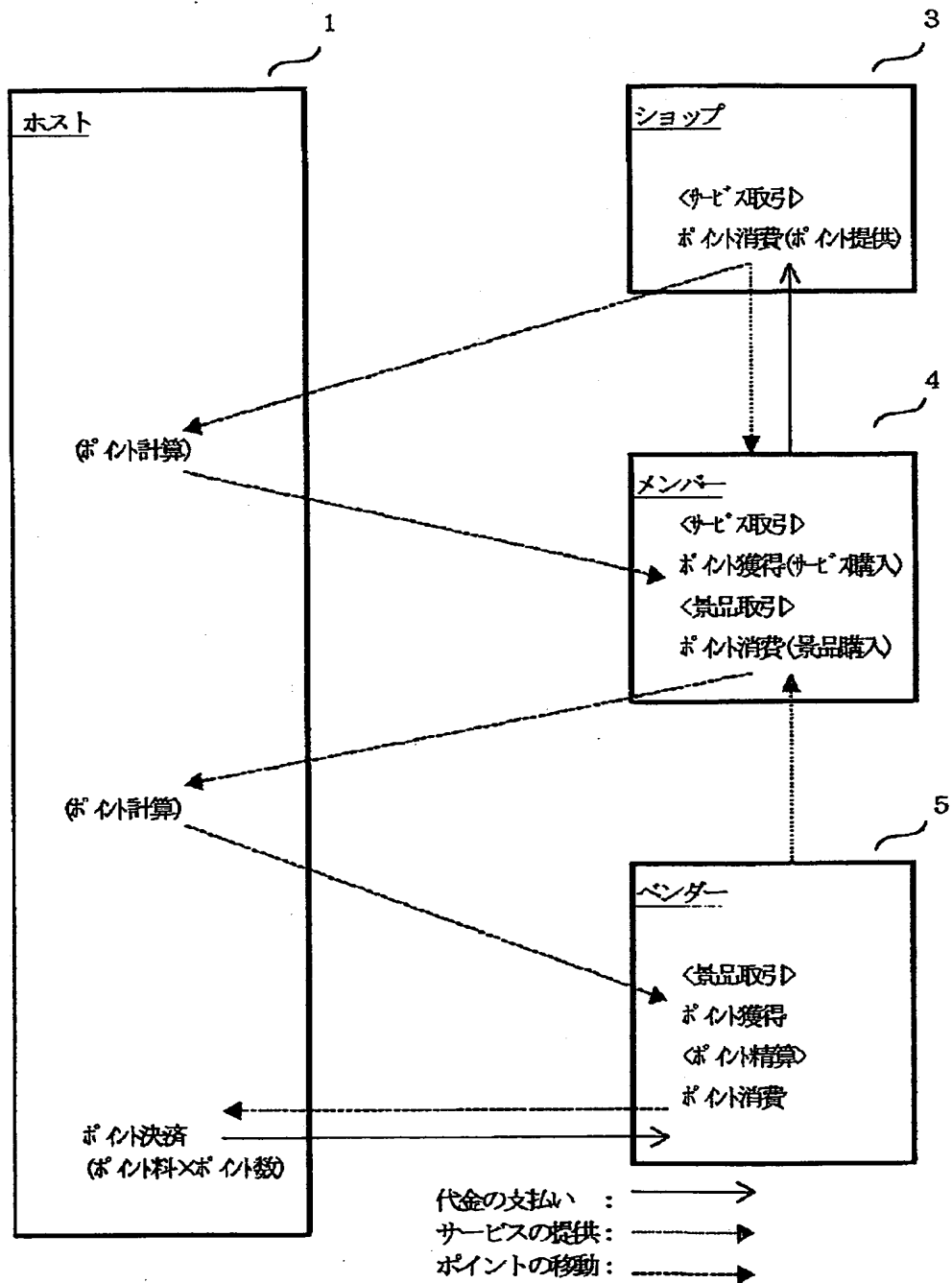
本ポイントサービスシステムのビジネスフロー（準備）



【図19】

図19

本ポイントサービスシステムのビジネスフロー（運用）



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】

仮想店舗と仮想店舗との間の清算を排除し、仮想店舗側でサービスに付与するポイント数を戦略的・機動的に変更可能とし、経営主体の異なる多業種の複数店舗への適用を可能とするポイントサービスシステムを提供する。

【解決手段】

仮想店舗の役割をサービスを提供するショップと景品を提供するベンダーに分離し、サービス／景品取り引きに伴って発生するメンバーの提供ポイント数／消費ポイント数を仮想店舗からシステムホスト側に通知する。また、システムホスト側にサービス／景品の取り引き時のポイント利用ルールを設定して、その範囲内で仮想店舗側でポイント数を変更可能とする。

【選択図】 図1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005108]

1. 変更年月日 1990年 8月31日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地
氏 名 株式会社日立製作所